

二級河川 引地川 下土棚遊水地上部利用計画

長後・湘南台地区の水と緑の拠点づくりに向けて



大庭遊水地付近の引地川(右側大庭遊水地)



大庭遊水地(球技広場)



大庭遊水地(湿性植物ゾーン)



下土棚遊水地付近の引地川(左側下土棚遊水地予定地; A池)

引地川における総合治水対策

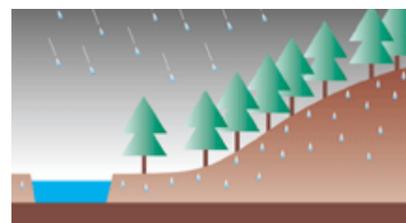
神奈川県では、人口が急増し、土地の利用形態が大きく変化したため、流域が本来持っている保水、遊水機能が減少し、都市型水害が増加しています。

こうした中で引地川では、総合治水対策として、河川の流下能力を高める河川改修や遊水地の整備、また、開発調整池、流域の保水機能の維持、土地利用の指導などの流域対策により、災害の防止と軽減を行っています。

■都市化によって高まる洪水被害

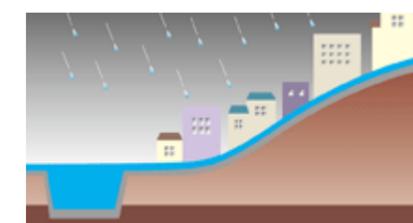
【都市開発前】

森林や畑などは雨水を一時的に貯めたり、地中に浸透させるため、雨が降っても下流への流出が抑えられます。



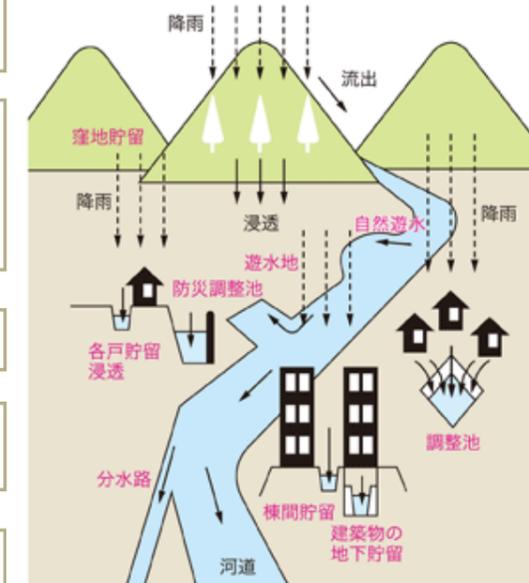
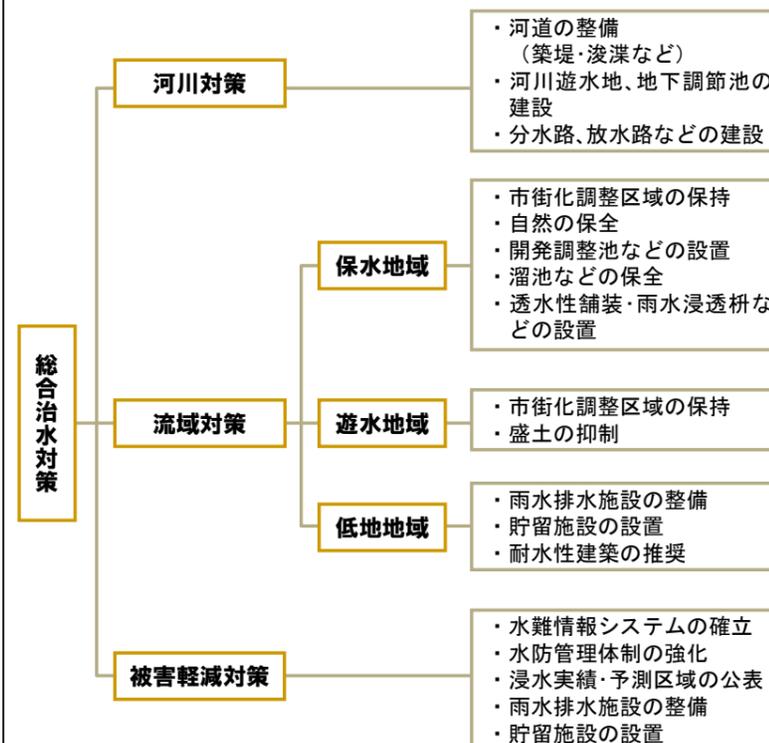
【都市開発後】

地表がアスファルトなどで覆われ、森林や水田・畑が失われると、雨水を貯留・浸透する機能が低くなり、下流への流出が増大します。



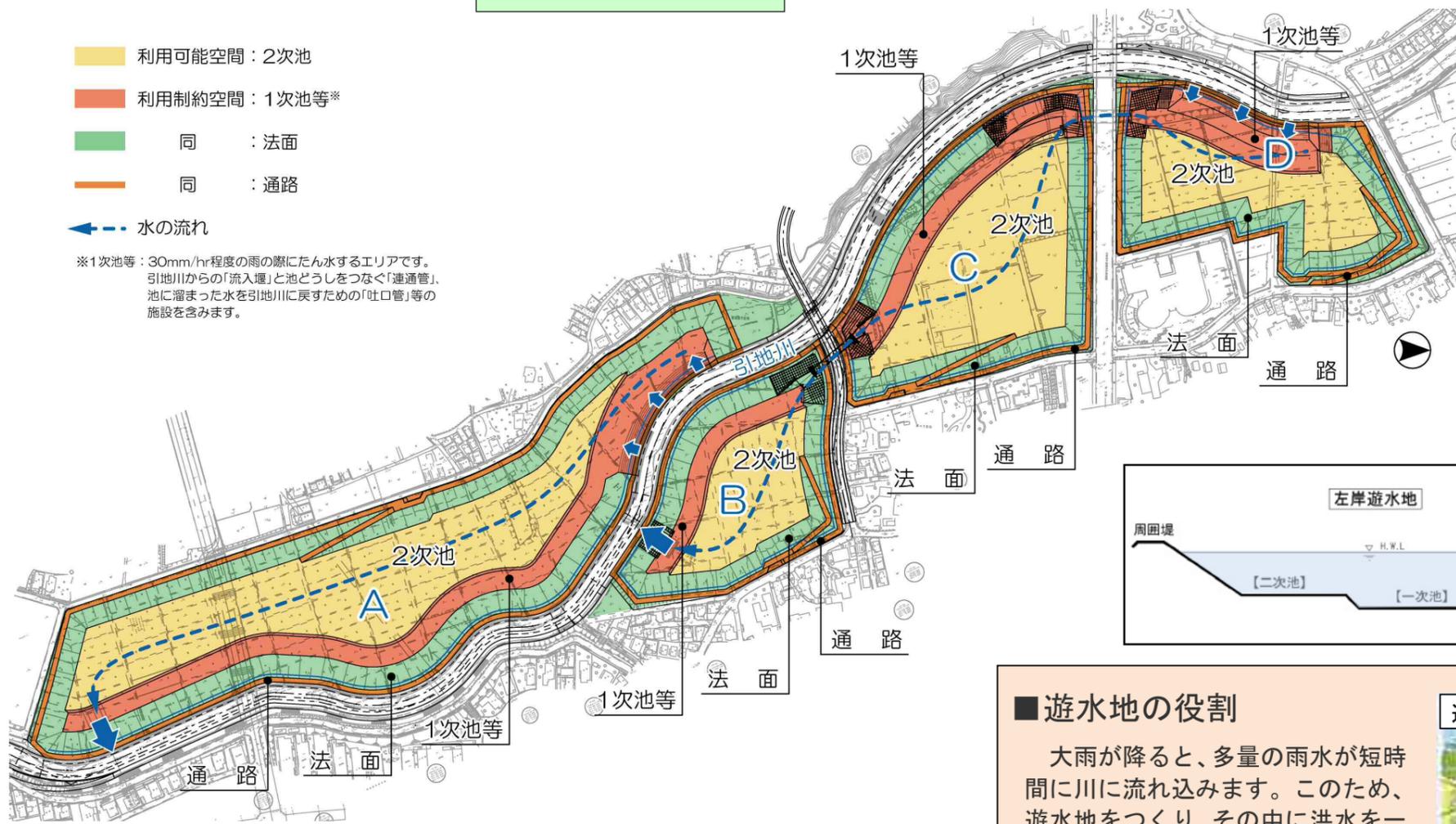
■総合治水対策

流域の力を合わせて、安全なまちづくりを目指します。



下土棚遊水地整備計画

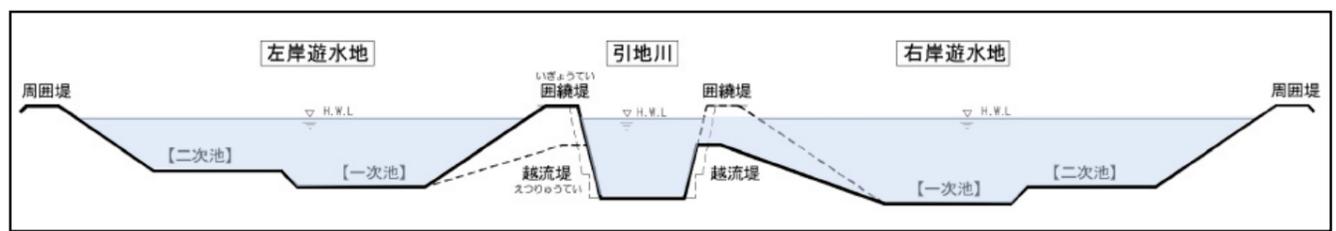
計画平面図



下土棚遊水地は、60mm/hrの降雨に対応できる河川整備を目標に、大庭遊水地(平成5年完成)とともに引地川の洪水調節施設に位置付けられています。

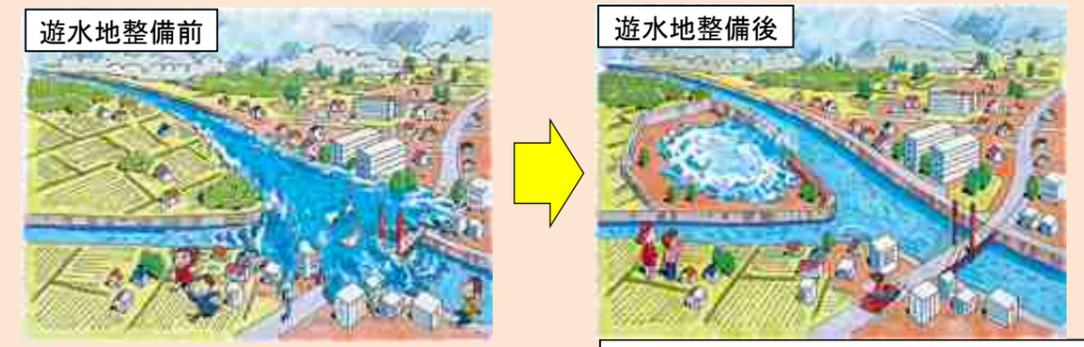
下土棚遊水地は、藤沢市下土棚地先に、洪水調節量 $80\text{m}^3/\text{s}$ (面積約14ha、貯留量約46万 m^3)の遊水地として計画されています。

計画標準断面図

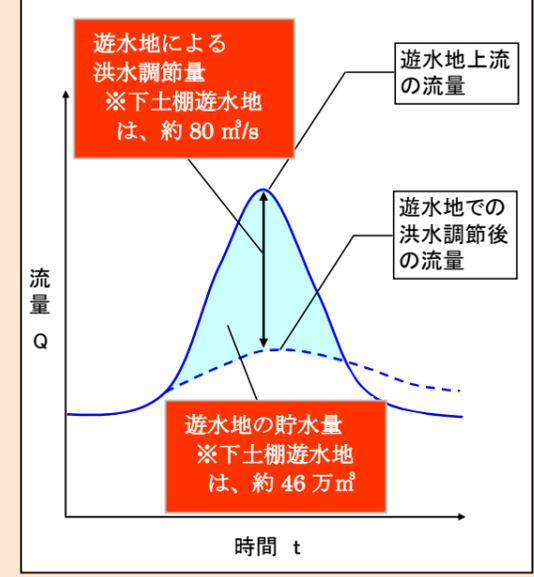


遊水地の役割

大雨が降ると、多量の雨水が短時間に川に流れ込みます。このため、遊水地をつくり、その中に洪水を一時的に貯めることで、下流に洪水が一気に流れ出すことを防ぎます。

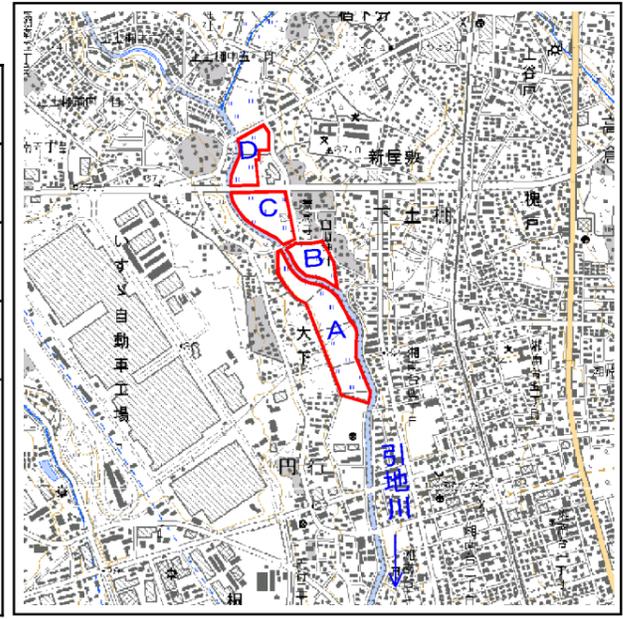


大庭遊水地の平常時と洪水時の状況 — 平成22年12月3日洪水 —



事業概要

事業名	河川改修事業
河川名	二級河川 引地川
事業箇所	藤沢市下土棚地先
事業年度	平成18年度～32年度(予定)
事業概要	面積 14 ha
	貯留量 460,000 m^3
	洪水調節量 80 m^3/s



下土棚遊水地上部利用計画策定に向けて

■計画策定にあたっての配慮事項

下土棚遊水地の上部利用については、以下のことに配慮します。

配慮事項	計画策定を進めるための視点
遊水地が洪水貯留機能を有する治水施設であることを踏まえた上部利用計画とします	<ul style="list-style-type: none"> 必要となる貯留機能を確保します 安全な洪水貯留ができる施設構造とします
利用に対する地域の要望を反映させた上部利用計画とします	<ul style="list-style-type: none"> 藤沢市の総合計画などを踏まえた利用施設とします 地域の意向を反映させた利用施設とします
地域の利用に際して公平性が確保された上部利用計画とします	<ul style="list-style-type: none"> 特定の人だけが利用するような施設とはしません
維持管理と役割分担を踏まえた上部利用計画とします	<ul style="list-style-type: none"> できるだけメンテナンスフリーとなる施設とします 利用にあたって、日常的なメンテナンスが必要となる施設については、維持管理内容やその役割分担を決めます

そのため、上部利用計画を策定するためには、以下のようなことが必要になります。

- ◆ 地域の意向や要望を公平に反映させる仕組み
- ◆ その意向や要望の実現のための調整
- ◆ 遊水地の治水機能を確保するための専門家のアドバイス
- ◆ 利用施設の構造や維持管理への専門家のアドバイス

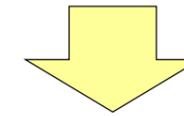
■藤沢市の上位・関連計画における下土棚遊水地の位置づけ

計画の名称	下土棚遊水地に関連する計画等
都市マスタープラン	下土棚遊水地では上部利用等市民とともにレクリエーションの場づくりを促進する
緑の基本計画	下土棚遊水地は緑の軸線となる引地川の河川軸上の「自然とのふれあい拠点」とする
ビオトープネットワーク基本計画	下土棚遊水地とその周辺は保全型ビオトープ核エリアと位置づけ、藤沢市のビオトープネットワーク形成に向けた拠点として保全、再生、拡大を図る
ふじさわスポーツ元気プラン 2020	河川整備等に合わせた新たなスポーツの場の確保する 引地川遊水地上部利用(下土棚) ※H23～検討、H27 実施

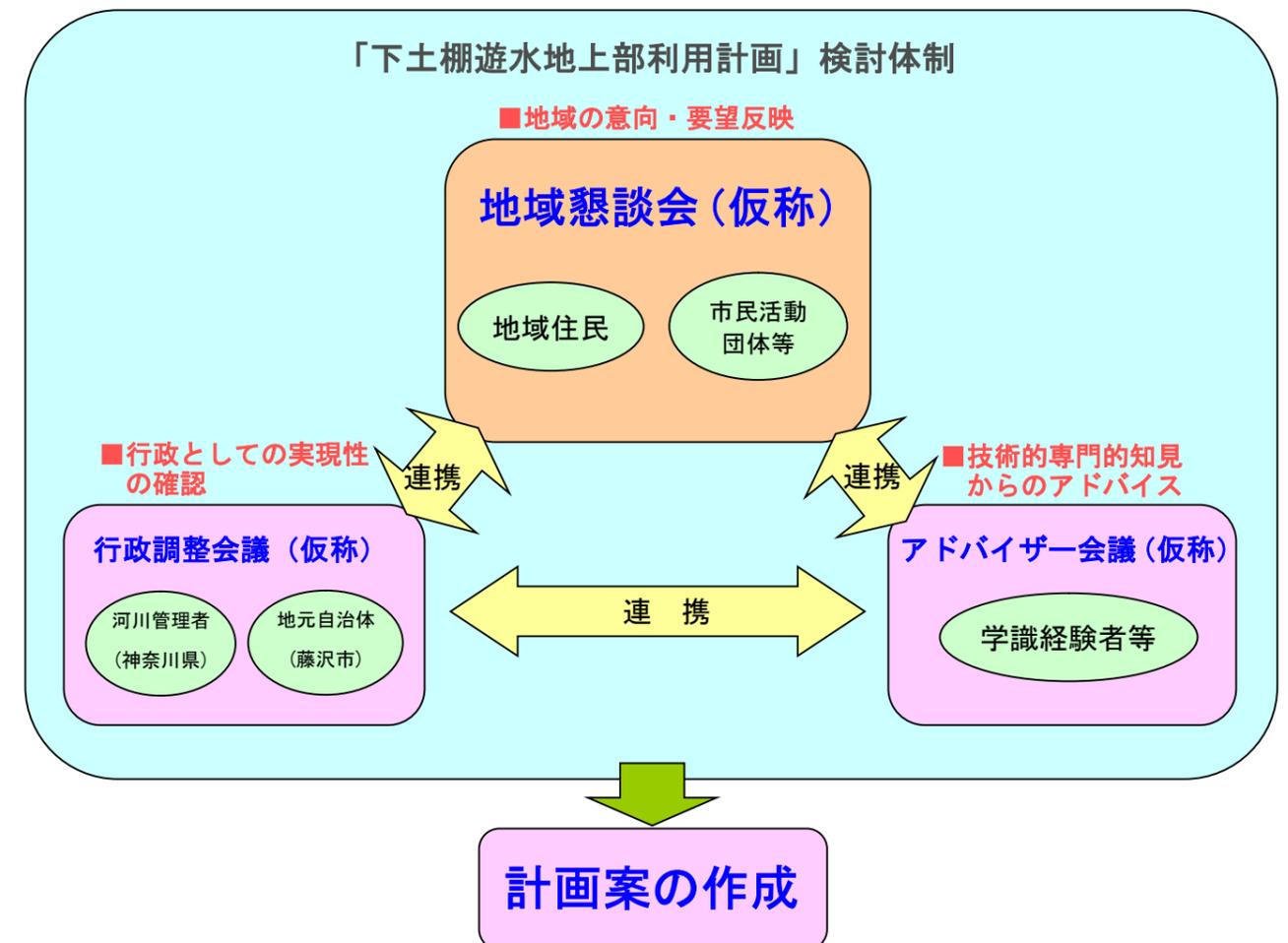
■上部利用計画策定の進め方

下土棚遊水地の上部利用計画では、計画策定を進めるための注意事項を考慮し、以下のような検討体制をつくります。

- ◆ 地域の意向や要望、公平性や維持管理への意見を反映させるための場である「地域懇談会（仮称）」
- ◆ 「地域懇談会」で検討した計画に技術的アドバイスを行う場である「アドバイザー会議（仮称）」
- ◆ 計画の実現に向けた調整を行う場である「行政調整会議（仮称）」

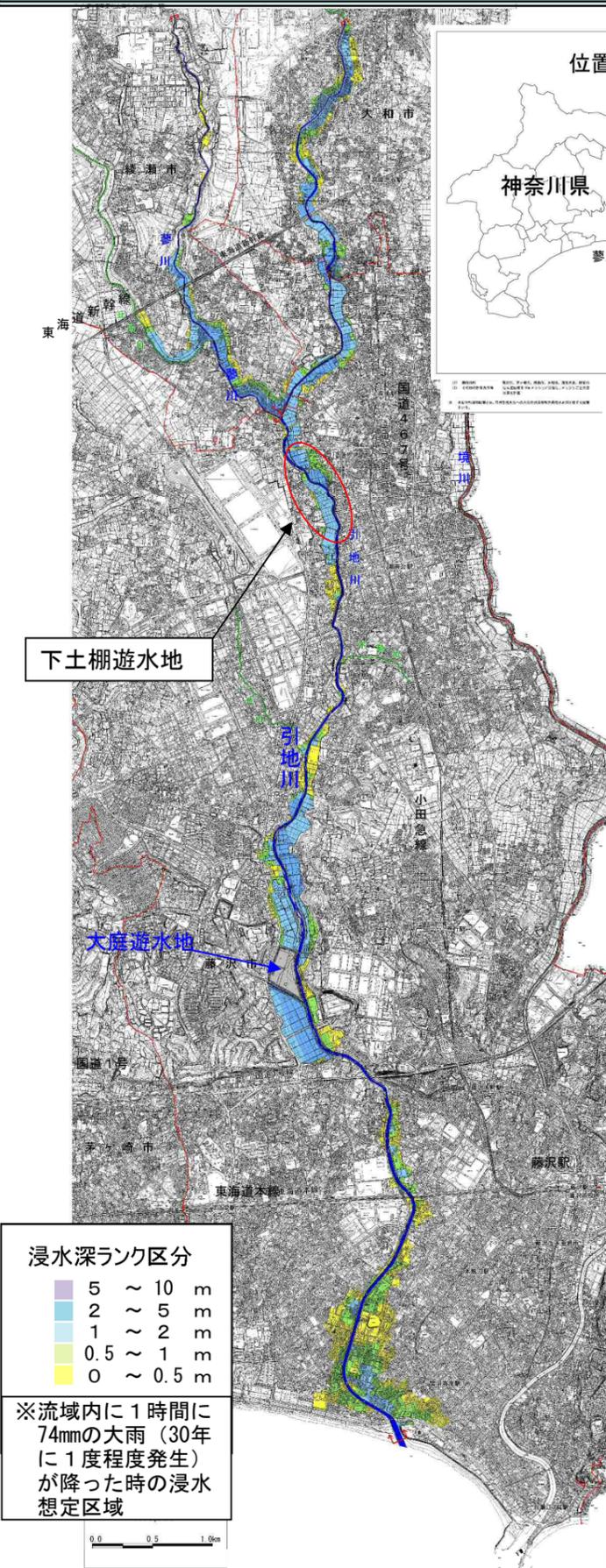


これらの組織が連携して計画づくりを進めていきます

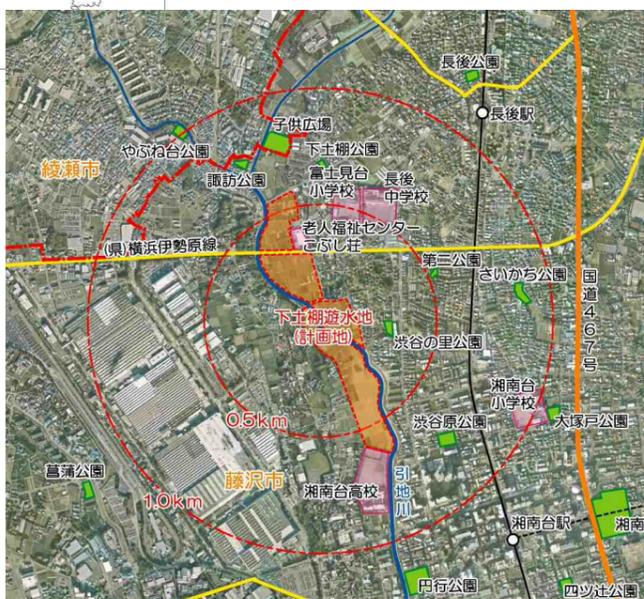


下土棚遊水地の整備

引地川では、洪水被害を防ぐために、総合治水対策の一環として、下土棚遊水地の整備を平成18年度から進めています。



位置図
■下土棚遊水地位置図



下土棚遊水地は、藤沢市の北部に位置し、周辺には、小・中・高等学校や老人福祉センター、公園などの施設が隣接しています。小田急線長後駅、湘南台駅から、それぞれ徒歩で15分程度のところです。

下土棚遊水地は、引地川の洪水を一時的に貯めて、下流への流出を抑制する治水施設です。
 ただし、遊水地は、出水時以外の平常時においては、その空間を多目的に利用することにより、地域にとって様々な効果が期待されます。
 このため、**地域の憩い・安らぎの場、地域の活動・交流の場**などを新たに創出することを目的に、下土棚遊水地上部利用計画を策定します。



神奈川県藤沢土木事務所 工務部 河川砂防第一課
 〒251-0025 神奈川県藤沢市鶴沼石上 2-7-1 (藤沢合同庁舎内)
 ☎0466-26-2111